

スポーツ施設が不足し、合併特例債の有効期限も迫る中、期日を決めた計画が必要であるが、平成26年度から28年度まで年度毎の計画は。

答 現在、新たに建設する施設の内容が定まっていないことから、資金計画については答弁できる段階ではない。

また、合併特例債の活用については、施設の内容が決定した後に検討していきたい。

学校教育

地域の特色を活かした教育について
柿沼 貴志
(新政策研究会)

問 地域の伝統文化や昔話、偉人伝をまとめた冊子を新たに作成し、特色ある「心の教育」に活用すべきと考えるがどうか。

答 グローバル化が進む中、自らの国や地域の伝統、文化について理解を深め、これらを尊重する態度を身につけることが重要である。

教育委員会としては、行田市ならではの教育「ふるさと学」や「寺子屋事業」を推進

し、子どもたちが郷土に誇りを持ち、未来の行田市を担っていくようとする意欲や態度を育てている。今後この取り組みをより充実していく。

問 全国藩校サミットで、忍藩子ども塾素読教室の生徒と卒業生、埼玉小学校の子どもたちが、漢詩、論語を暗唱し、全国的に大きな評価を得た。

この「心の教育」につながる素読を全小・中学校に広めていくべきと考えるがどうか。

答 埼玉小学校が特色ある学校づくりの一環として取り組んでいるものであり、今後、その成果等について各学校に情報提供していく。



藩校サミット行田大会

●市の歴史認識

問 朝日新聞の「従軍慰安婦」誤報を受け、教育委員会として、捻じ曲げられた自虐史観

をおおるこうした歴史認識をどのように捉えているのか。

答 教育委員会としては、中立・公平な立場から個々の政治的な報道について、認識を示すことは適当ではない。

●災害対策について

問 市内における洪水対策の進捗状況は。

答 平成19年度から昨年度までに忍・緑町排水機場の建設や、排水路の嵩上げ工事、排水機場の制御盤の更新など、出水対策の推進を図ってきた。

本年度は、向町排水機場、排水ポンプ3号機の増設や、新たな雨水排水ポンプの設置を実施している。

市民サービス

各種証明書のコンビニ交付
東 美智子
(公明党)

全体的にカード発行の需要が少ないが、高齢者には、身分証明書として利用できるため、交付を受けている方も多いと認識している。

各種証明書のコンビニ交付については、マイナンバー制度に伴う新たな個人番号カードの普及により、本市においても、住民サービスの向上や交付に係る費用対効果等を考慮しながら研究していく。

問 個人番号カードの移行に伴い、2016年に向けての

取り組みは、どのようなになっているのか。

答 来年10月ごろに住民登録をしている全国民に対して、個人番号カード交付申請書と通知カードが郵送され、個人番号カード交付申請書に基づき申請することにより、市の窓口において、平成28年1月から個人番号カードが交付される予定である。なお、市報やホームページ等で速やかに周知する。

○その他の主な質問
○代読・代筆支援の充実

市議会を傍聴してみませんか

市議会には、定例会(3月・6月・9月・12月)と、必要がある場合に開かれる臨時会とがあります。

市議会は公開されており、傍聴人受付簿に、住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。(50人分)

議場は市役所の3階にありますので、エレベーターをご利用下さい。

